

小学校第3学年 社会科「事故や事件からくらしを守る」

1. 単元の目標

事故や事件から地域の安全を守る働きについて、施設・設備などの配置、警察による緊急時への備えや対応などに着目して、教科書などの資料で調べて、関係機関や地域の人々の相互の関連や従事する人々の働きを考えることを通して、警察署などの関係機関は、地域の安全を守るために、相互に連携して緊急時に対処する体制をとっていることや、関係機関が地域の人々と協力して事故の防止に努めていることを理解できるようにする。

主体的に学習問題を追求・解決しようとする態度や、学習したことを基に地域や自分自身の安全を守るためにできることなどを考えようとする態度を養う。

2. 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
① 施設・設備などの配置、警察署による緊急時への備えや対応について見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、必要な情報を集め、読み取り、関係機関や地域の人々の諸活動を理解している。 【調べてわかる】 ② 調べたことを地図や文などにまとめ、関係機関が地域の人々と協力して事故などの防止に努めていることを理解している。【まとめてわかる】	① 施設・設備などの配置、緊急時への備えや対応などに着目して、問いを見だし、関係機関や地域の人々の諸活動について考え表現している。【着目して問いを見だす】 ② 連携・協力している関係機関の働きを比較・分類、または結び付けて、相互の関連や従事する人々の働きを考えたり、学習したことを基に地域や自分自身の安全を守るために自分たちにできることなどを考え、選択・判断したりして、適切に表現している。【考えたり、選択・判断したりする】	① 地域の安全を守る働きについて、予想や学習計画を立てたり、学習をふり返ったり見直したりして、学習問題を追求し、解決しようとしている。 【主体的な問題解決】 ② 学習したことを基に地域や自分自身の安全を守るために自分たちにできることなどを考えようとしている。【よりよい社会を考えようとする】

3. 単元の指導計画

(○…指導に生かす評価 ◎…記録に残す評価)

時	主な学習内容	評価		
		知	思	態
1	身近な地域の安全について資料を読み取ったり、自分たちの経験をもとに話し合ったりすることを通して、事故や事件から地域の安全を守る働きについて学習問題をつくる。		①○	①○
2	警察の仕事について調べ、警察が安全を守るためにさまざまな仕事をしていることを理解する。	①○		
3	調べたことをもとに、事故が起きた時に関係諸機関がどのように連携しているのかについて理解する。	①○		
4	身の回りの安全を守る施設や設備について調べ、地域の人々が安全を守るためにさまざまな活動をしていることを理解する。	①○		
5 本時	地域の人々のまちの安全を守る取組について調べ、関係機関と協力しながら、自主的に安全なまちづくりに努めていることを理解する。	①○		
6	事故や事件からくらしを守る働きについて図にまとめ、さまざまな人々の協力により、まちの安全が守られていることを考える。	②◎	②◎	
7	今までの学習を振り返りながら、自分たちのくらしを守るために地域社会の一員として自分たちにできることを考える。		②◎	②◎

4. 本時案

(1) 目標

地域の人々のまちの安全を守る取組について調べることを通して、関係機関と連携しながら、自主的に安全なまちづくりに努めていることを理解できるようにする。(知識及び技能 ①〇)

(2) 展開 (5/7時間目)

過程	子どもの学習活動・予想される反応	教師の働きかけ・手立て
(見通す) 導入	1. 今日の学習内容を確認する。 「今日の課題は、『地域の人はどうな ことをしているのだろう』だ。」	○「今日の学習は何ですか？」 ・学習を想起させる問いを発す ことで、計画を確認できる ようにする。
	課題：地域の人、どのようなことをしているのだろう。	
	2. 問いに対する予想をもつ。 「よくわからないな。」「見回り」「子供 110番の家」	○「予想では？」 ・予想させることで、「どうなっ ているんだろう？」と調べた い気持ちを高めることができ るようにする。
行 (自己決定・実 行)	3. 調べる方法や順番、まとめ方を決める。 「まずは、教科書で調べよう。」 「友達と一緒に調べたいな。」 「今日は、クラゲチャートに整理しよう。」	○「今日の学び方はどうします か？」 ・教科書、副読本、動画のよう に資料を限定して示すこと で、児童が自分で課題につい て調べられるようにする。
	4. 課題について調べる。 【指導の個別化】【協働的な学び】 「一通り調べ終わったから、交流に入ろ う。」	・机間巡視により、各自の取組 状況を確認し、困っている児 童や全体への補助説明を行 うことで、各自が適切に調べ、 整理できるようにする。
(振り返る) 終末	5. 調べたことを全体で共有する。 「防犯パトロール」「まちの安定会議」	○「どんなことが分かりました か？」
	6. 地域の人々が活動する意味を考える。 「より多くの人で取り組む方が、事件が減 る。」 「地域の人の方が、まちに詳しい。」 「自分たちの街は、自分たちで守る。」	○「これらの仕事は警察に任せ た方がよくないですか？」 ・なぜ地域の人々がこのような取 組を行っているのか問うこと で、事象の意味を表現でき るようにする。
	7. まとめを書く。 まとめ：(例) 地域の人、パトロールなど、自分たちでより安全な まちづくりを進める活動をしている。	
	8. 振り返りを書く。	○「今日の学びや学び方はどう でしたか？」

○子どもが安心して、
進んで取り組める授業
・単元の導入で児童と学
習計画を共有するこ
と、1単位時間の授業
展開を同じにすること
で、児童が見通しをも
って、学習を進められ
るようにした。

○子どもの「興味・関心」
や「問い」を大事にした
授業
・調べる前に課題につい
て予想をさせることで
児童に問いをもたせ、
興味をもって調べられ
るようにした。

○子どもが「自分たちで
学び取る授業」
・子ども自身で、調べら
れる時間の確保(25分
間)と調べる資料
(教科書、副読本、動
画)の用意をした。

(3) 板書

師走15日(金)
事故や事件からくらしを守る

① 地域の人、どのようなことをしているのだろうか。

② P116-117
動画
③ P113-114

地域の人

パトロール
見守り
あいさつ
会
さつ会
訓練
子供110番
安全なまち
シル

地域にうれしい、よりたくさんの人で、
自分たちのまち、より安全なまちづくり

④ 地域の人、パトロールなど、自分たちでより安全なまちづくりを進める活動をしている。

⑤ 学び 学び方